腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を受ける患者さんへ

【患者さん用クリニカルパス】

ID:　　患者氏名：　　様

	入院当日	入院２日目～手術前日	手術当日　月　日		術後１日目	術後２病日	術後3～5日目	術後6日目(退院)
	月　日	月　日　～　月　日	手術前	手術後	月　日	月　日	月　日～月　日	月　日
目標	入院中の経過がわかる。	手術までの経過がわかる。不安なく検査ができ、手術に臨むことができる。		痛みのコントロールができている。	歩行訓練が出来る。	廊下を往復歩行できる。水分をゆっくり摂取することができる。	廊下を往復歩行できる。食事をむせることなく摂取することができる。	食事の取り方、運動方法など退院後の過ごし方がわかる。
説明指導	看護師より入院中の説明を行います。	毎朝体重を測定して報告して頂くように説明します。適宜検査の予定、説明を行います。		ご家族に医師から手術後の説明をします。	離床やリハビリの説明をします。肺炎にならないように痰をだしてください。また、なるべく早期に歩いたほうが回復が早まります。	術後、食事再開前の栄養指導があります。	流動食を開始します。むせないように気を付けて、よく噛んでゆっくり時間をかけてたべてください。	ドレーン（管）が抜けて、発熱や腹痛が無ければ退院です。
	外科の医師から手術の説明を行います。説明書や承諾書にサインをいただきます。看護師より術前説明を行います。							次回、再来予約日の説明をいたします。
治療処置点滴	歯科にて口腔内のケアを行う方もいます。関連診療科の診察や検査があります。	手術前からリハビリ介入し運動を行って頂きます。	6時頃血圧、脈拍、血糖、体温などを測定します。	手術後は食事が十分にとれるまで２４時間点滴をします。血栓予防の注射を行います。				
				心電図モニターを装着し、酸素を投与します。	心電図モニターを装着し、酸素を投与します。	午前中、上部消化管造影検査を行います。	リハビリを行います。	
検査	手術にむけて血液検査、X線撮影、心電図、CTの検査等をします。				血液検査、エックス線撮影等を適宜試行します。			検査結果に問題なければ行いません。
内服	現在飲んでいる内服薬の確認をします。内服薬は基本的に継続内服とします。中止する薬がある時は説明いたします。		術前に常用薬を指示通り内服します。	手術当日、術後は内服を中止します。必要に応じて点滴で代用します。	水分摂取開始後、医師の指示により内服薬を再開します。			次回、再来予約日までの内服薬を調整してお渡しします。
生活行動安静度	特に制限はありません。禁煙です。		９：00に、担当医・看護師と手術室へ移動します。それまで病室で安静にしていただきます。	ベッド上で安静にしていただきます。	ベッドの横で座ったり、立つ訓練をします。ベッドの横で足踏みしたり、病棟内を歩きます。歩行距離を伸ばします。			自宅で日常生活が可能になります。
				下肢の静脈血栓予防のためフットポンプで足のマッサージをします。				
排泄	手術前日に下剤を内服して頂く影響で下痢をすることがあります。		朝、浣腸をします。	手術室で尿の管が入ってきます。	自力でトイレへの歩行が可能となれば尿の管を抜きます。転倒に気を付けてトイレまで歩行してください。歩行に不安があるときには看護師が付き添いますのでおっしゃってください。			
清潔	シャワー浴ができます。				体を拭いて清潔に保ちます。		ドレーンが抜けるとシャワー浴ができます。	退院後は入浴が可能です。
食事	1200kcalの食事をお出しします。昼食はマイクロダイエットを併用します。基礎疾患(糖尿病・高血圧など)に応じて、治療食をお出しします。手術前々日夜まで食事を摂っていただきます。		何も食べられません。		手術翌日は絶飲食です。	水分摂取を再開します。	流動食とマイクロダイエットで食事を再開します。術後2週間は退院後もこのお食事になります。	
			水分は当日7:00まで飲むことができます。					
その他	院内全館禁煙となっております。大部屋での携帯電話の使用はご遠慮ください。		付き添いは必要ありません。	痛みや気分不快がありましたら看護師にお知らせください。				退院後に異常がありましたらすぐにご連絡ください。

注）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わることがあります

岩手医科大学附属病院

外科